



令和3年6月30日発行

認定こども園様似町立幼児センター

身近な自然の中で、じっくり楽しめる子どもたち～6月の子ども達の様子～

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言下での6月でしたが、幼児センターの子どもたちはマスクの着用や手洗いうがい、手指の消毒といった感染症対策に気をつけながら、のびのびと園生活を過ごすことができました。引き続き、職員一同感染症予防対策の励行に努め、教育保育を行ってまいります。保護者の皆様におかれましても、お子さんの健康管理とご家庭での感染症予防へのご協力を、よろしくお願いいたします。

センター周辺では子育てに奮闘する小鳥たちが一生懸命ヒナのために虫を探していたり、近くの山々からはエゾハルゼミのにぎやかな蝉時雨が聞こえてくるなど、春から初夏へ着実に季節が移り変わっていることを感じることができました。子どもたちは身近な昆虫や草花といった自然物との触れ合いを通して様々な「不思議だな」「きれいだな」「かわいいな」という発見や気づきを楽しむことができていました。そして、一人一人が気づいたことや見つけたことを友達と共有し、楽しみを分かち合う…そんな微笑ましいかわり合いを見守ることができました。「一人の楽しみ」が「気の合う友達との楽しみ」へ。さらにその楽しみが「クラスみんなの楽しみ」へ広がっていくことを願い、幼児センターの保育者たちは教育保育活動に日々邁進しております。



1歳児クラス

ふれあい広場一面に咲くタンポポを見て「ポポ、ポポ」と手に取り眺める様子が、かわいいです。保育者が綿毛を吹いて飛ばすと、子どもたちも真似して楽しんでいました。

2歳児クラス

散歩に出かけると、道端にアリの巣を見つけました。よく見ると実に立派な『アリの団地』でした。アリがミミズを巣に持ち帰ろうとする様子に気づいた保育者が子どもたちに様子を伝えると、一緒にしゃがんでじっくり観察していました。



5歳児クラス

年長さんになると、散歩のときに虫メガネを持って出かけ、見つけた昆虫に注意深く虫メガネをかざし、昆虫の細かな様子にも関心を向けて観察しています。このクラスには昆虫博士と呼ばれている子がいて、この日もその子を中心に友達同士で観察活動を楽しんでいました。





たべもののお話がありました

6月の愛情弁当の日に合わせて、幼児センター栄養士が「ニンジン」をテーマにお話をしました。ニンジンがどのように育つか、ニンジンを食べるとばい菌やウイルスを寄せつけない元気な体になることや、お肌がつるつるになるなど、楽しいイラストを交えて解説してくれました。

さっそく次の日『ニンジンのミルク煮』が給食に出ましたが、栄養士のお話を思い出し、一口食べてみる！食べたらいしかった！と喜ぶ子ども様がありました。



健やかな心と体をつくるため

幼児センターの『食育』と『運動あそび』



4歳児クラス、運動遊びの様子

これまで様々な動物歩きの運動遊びを楽しんできた4歳児。それが基礎となりホール一面を行き来する雑巾がけ運動をはつらつと行う様子が見られるようになりました！

4歳児クラス、集団遊びの様子(写真右)

雑巾がけでヒートアップした後は、クールダウンもかねてボール回しゲームを楽しみました。この日は保育者が歌に合わせてボールを渡そうと発案しゲームがスタート。「おつかいありさん」などの歌を歌いながら、仲良くゲームを進める子どもたちでした。



※今回掲載した写真は4歳児でしたが、各学年、それぞれに工夫を凝らし運動遊びの実践を行っております。